

平成 16 年度「みえの文化力」に関する調査結果のポイント

何故今、文化を大切にする
社会が求められているか

県民しあわせプランの基本理念「みえけん愛」を育む社会

【時代の变化】

- ・物の豊かさから心の豊かさへ人々の価値観が変わってきている
- ・人口減少社会における新しい豊かさの尺度が求められている
- ・地方分権が進展する中、誇りと愛着の持てる地域づくりのあり方が問われている
- ・人々の精神的な結びつきが希薄になるなど地域社会の共同体機能が弱体化してきている
- ・いじめや虐待といった心をめぐる問題が顕在化してきている
- ・サステナビリティ（持続可能性）をキーワードに環境と調和する生活空間が求められている
- ・知識情報社会が進展し、人々の生活環境や歴史、文化が一層重要になってきている
- ・自分らしいライフスタイルの重視等々人々の文化意識が高まっている
- ・経済合理性に加えて、景観との調和等地域における文化性が重視されてきている

【文化の定義】

生活の質を高めるための人々のさまざまな活動及びその成果

【文化の意義】

- ・人間らしさ、心の豊かさの回復
- ・地域社会の精神的基盤の形成
- ・より質の高い社会経済活動の実現

〔文化力政策の基本コンセプト〕

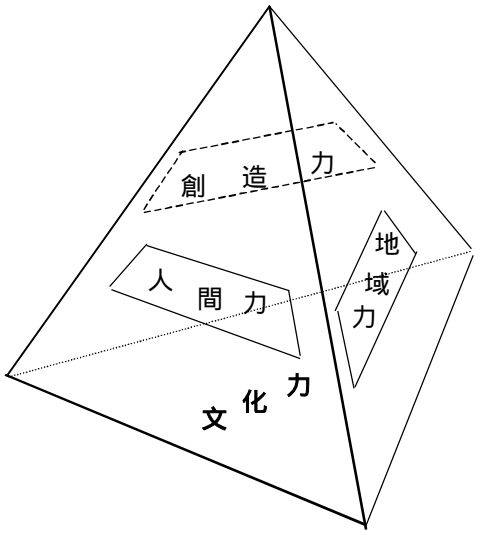
【文化力】

- ・経済力だけでなく、文化力に着目し、地域の価値を高め、地域の発展を図ることが必要。
- ・文化は、地域社会の課題を解決するとともに、新たな地域社会を創造する原動力となる。文化のもつこうした力を文化力ととらえる。文化力は、県民しあわせプランの基本理念に示されている「みえけん愛」を育むための力、エネルギーとなるもの。
- ・文化力は、人間の持つ力（人間力）、地域の持つ力（地域力）、創造する力（創造力）の三つの力を総合した力。文化力を強化する要素として、自発性、多様性がある。
- ・人間力...人が人間らしく生きるために本来持っている多様な力
- ・地域力...地域の価値を高め、自立するために、地域が本来持っている力
- ・創造力...常に新しいものを生み出していく力

【文化力政策】

- ・文化力政策は、まちづくりや、産業のあり方、さらに日々の暮らしにいたるまで、人間力、地域力、創造力からなる文化力を基軸として判断、行動し、自立した地域における心豊かな生活の場を作ることを目的とする政策。
- ・文化力政策は、理念に基づき、人間力、地域力、創造力を生かした多様な施策を総合的、継続的に取り組むことにより成果が表れる
- ・文化力を高めるため、人間力、地域力、創造力のそれぞれについて、活かす、支える、増やすの三つの視点からとらえることが有効

図 文化力の構造



【分野別の展開方向】

基本コンセプトに基づき、分野毎の展開の考え方と方向を取りまとめ

次世代に引き継ぎたい三重の姿

- 地域の人々や様々な主体が「新しい時代の公」の理念のもと、協働しながら地域の魅力を高める様々な取組を実施している社会。
- 先人達から受け継がれてきた三重県の自然や歴史、文化などを誇りに思い、愛し、さらに良くしていこうとする心が育まれ、アイデンティティが確立している地域社会。
- 県民誰もが、自立した個人として、必要な情報を収集し、自ら考え、判断し、行動する社会。
- 身の回りから感じる確かな感性や絆が育まれ、連帯感やおもいやりの溢れている地域社会。
- 県民一人ひとりがそれぞれの価値観に応じた“しあわせ”を実感できる社会。